

はじめに

この度は、RODE NT-3 をお買上げ頂き誠に有難うございます。NT3 はバラエティーに富んだ使用方法が可能なコンデンサーマイクです。レコーディングやライブ、ロケ収録など、NT3 が活躍する場所は多数あります。低いノイズレベルと優れた周波数特性を生かして今日のミュージシャンや音響エンジニアの要望に答えることができるマイクと言えます。

製品の性能を最大限に活用し未永くお使い頂く為に、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

機能

- トランスレス出力
- ショックマウント内蔵カプセル
- 高品質ニッケル製ボディー
- 高品質メッシュヘッド
- サーフェス・マウント・コンポーネント
- ハイパーカーディオイド指向性
- 幅広い周波数特性
- バッテリー・インジケーター
- アクセサリー
- ZP1 ソフトバック
- WS3 ウィンドスクリーン
- RM3 マイクホルダー

製品仕様

アコースティック	: 19mm (3/4") コンデンサー
電気系統	: FET インピーダンス・コンバーター/バイポーラー出力バッファー
指向性	: ハイパーカーディオイド
周波数特性	: 20 Hz-20 kHz
出力インピーダンス	: 200
感度	: -39dB re 1volt/pascal (12mV @ 94dB SPL) +/-2dB
ノイズレベル	: 17dBA 以下 (" A " -weighted per `IEC268-15)
最大出力	: +9.5dBu (@ 1% THD into 1K)
ダイナミック・レンジ	: 123dB 以上 (per IEC268-15)
最大 SPL	: 140dB SPL 以上 (@ 1% THD into 1K)
S/N 比	: 77dB 以上 (per IEC268-15)
電源	: P48 - P24 - P12 ファンタム電源; 9V バッテリー
付属	: マイクホルダー (3/8 " -5/8 "), ウィンドスクリーン、ソフトケース

使用方法

1. NT3 を駆動させるためにはファンタム電源もしくは 006P 9V のバッテリーを使用します。
2. ミキサーに搭載されている 48V ファンタム電源を供給してください。搭載されていない場合は専用のファンタム電源供給機器も使用可能です。
3. バッテリーを使用する際は 9V の乾電池を正しくマイク内に収納して下さい。アルカリ・バッテリーを使用することをお勧めします。バッテリーを挿入する際はマイク下方部にあるネジを取り外し、バッテリーをコネクター側から挿入して下さい。そして、バッテリーをスプリング・クリップで固定し再度マイクのカバーを取り付けます。
4. ファンタム電源もしくはバッテリーを使用している時にスイッチでマイクのオン/オフをコントロ

ールすることができます。スイッチを ON のままにするとバッテリーが切れてしまう事がありますのでマイクを使用しない時はスイッチを OFF にして下さい。もし長時間マイクを使用しない場合はバッテリーを取り外すことをお勧めします。スイッチを ON にした時、赤いバッテリー・インジケーターが点灯するのを確認して下さい。バッテリーが良好な場合、インジケーターが 1 秒程度点灯し、すぐ消えます。インジケーターが消えない場合はバッテリーの交換が必要です。アルカリ・バッテリーを使用した場合およそ 400 時間使用可能です。

5. ミキサーに 48V のファンタム電源が無い場合などバッテリーを使う必要が生じます。9V バッテリーで駆動時はポータブルデッキなどに使用することができます。
6. マイクホルダー (RM3) が付属品しています。マイクスタンドに NT3 を設置する際にご使用下さい。
7. 高品質のマイクケーブルを使用して下さい。NT3 は 2 番ホットに設定されています。マイクをミキサーに接続する際は接続するマイク・チャンネルのゲインが下がっていることを確認して下さい。
8. ミキサーを ON にしてファンタム電源を NT3 に供給する時、またはバッテリーの電源スイッチが ON にした時、マイクの動作が安定するまで数秒かかります。
9. ノイズや歪みのレベルを最小限にとどめる為、使用するミキサーの入力ゲインがプログラムソースのピーク時にピークレベル・インジケーターが点灯するように設定して下さい。もしピークレベル・インジケーターが無い場合、歪みのレベルを聞きながら入力ゲインをコントロールし、歪みが生じないレベルまでゲインを下げます。
10. ライブ・ステージでの使用
NT3 はライブボーカル用のマイクとしてもダイナミック・マイクでは得ることのできなかつたスタジオ・クオリティーの素晴らしい音質を披露してくれます。ダイナミック・マイクの特長として音のソースにマイクがととも近い場合に限り、周波数特性をフルに活用することができます。NT3 の低域は 20Hz 以下まで伸びており、それは録音スタジオでも十分に活用できるレベルです。しかし NT3 をボーカルマイクとしてライブ・パフォーマンスで使う際は、この低域のインパクトを減らしたいと感じるかもしれません。もしハイパス・フィルターまたはローカット機能が搭載されている機材をご使用の場合、それをオンにして下さい。またはマイク自体を音のソースから離してください。この基本的なマイクロフォンのコントロール/テクニクによって最良の結果を得ることができます。

注意事項

1. 他のコンデンサーマイクと同様に NT3 も湿気には十分に気を付けて下さい。特にボーカル用として使用する場合は湿気の影響を受けやすいため、ウィンドスクリーンをかぶせてご使用下さい。このスクリーンを使用することによりポップノイズを防ぐこともできます。
2. NT3 は精密なマイクである為、決して落とさないで下さい。使用後は清潔な布でマイクを拭き、付属のソフトバックに除湿材を入れ保管してください。この除湿材は通常青色ですが、ピンク色に変色している場合は 100-150 度のオープンの中に入れて、青色になるまで熟することで再度除湿剤として使用可能です。
3. マイク内部のパーツはとでもデリケートなため、カプセルの周りのメッシュ・ケージは絶対に外さないでください。

RØDE[®]
MICROPHONES



NT3

USER'S MANUAL
-取扱説明書-

保証書

保証書

ご購入中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より10年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より10年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適當（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp